

# 海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度について

## 目的

- 今後の海外進出や国内外の技術者の相互活用を促進するため、海外インフラプロジェクトに従事した本邦企業の技術者の実績を認定し、特に優秀な者については表彰する制度を創設するとともに、本認定・表彰の結果を国内工事・業務の入札時に評価する。

## 対象となる工事・業務

以下の海外建設工事又は業務の従事経験を有する本邦企業等に所属する技術者※

### 【工事部門】

- ①発注者：外国政府/政府機関に準ずる法人(公社・特定目的会社(SPC)等を想定)、国際機関、日本政府又は政府関係機関
- ②受注者(JVの構成員を含む、ただし元請けに限る)：本邦法人またはその海外現地法人である海外建設工事(道路、河川、港湾、鉄道、空港、建築等)に従事した技術者(過去5年の実績)

### 【業務部門】

- ①発注者：上記に同じ
- ②受注者：上記に同じである建設関連業務(道路、河川、港湾、鉄道、空港、建築等の調査、詳細設計、施工監理)に従事した技術者(過去5年の実績)  
 <国内における調査等のみをその内容とする業務は含まない>

※主要な構造物の工事に一定の期間責任を持って関わったと申請企業等が認める技術者(国内工事・業務における監理技術者等相当以上の水準を想定)を対象とし、短期の応援業務等の一時的なサポートを含まない。

## 実績認定・表彰手続

### 【実績認定】

- 申請書類の内容を関係機関と連携して確認し、海外で従事した実績として国土交通省が認定※  
 ※ 技術者が所属する企業等(海外関連会社の場合国内親会社)が申請。

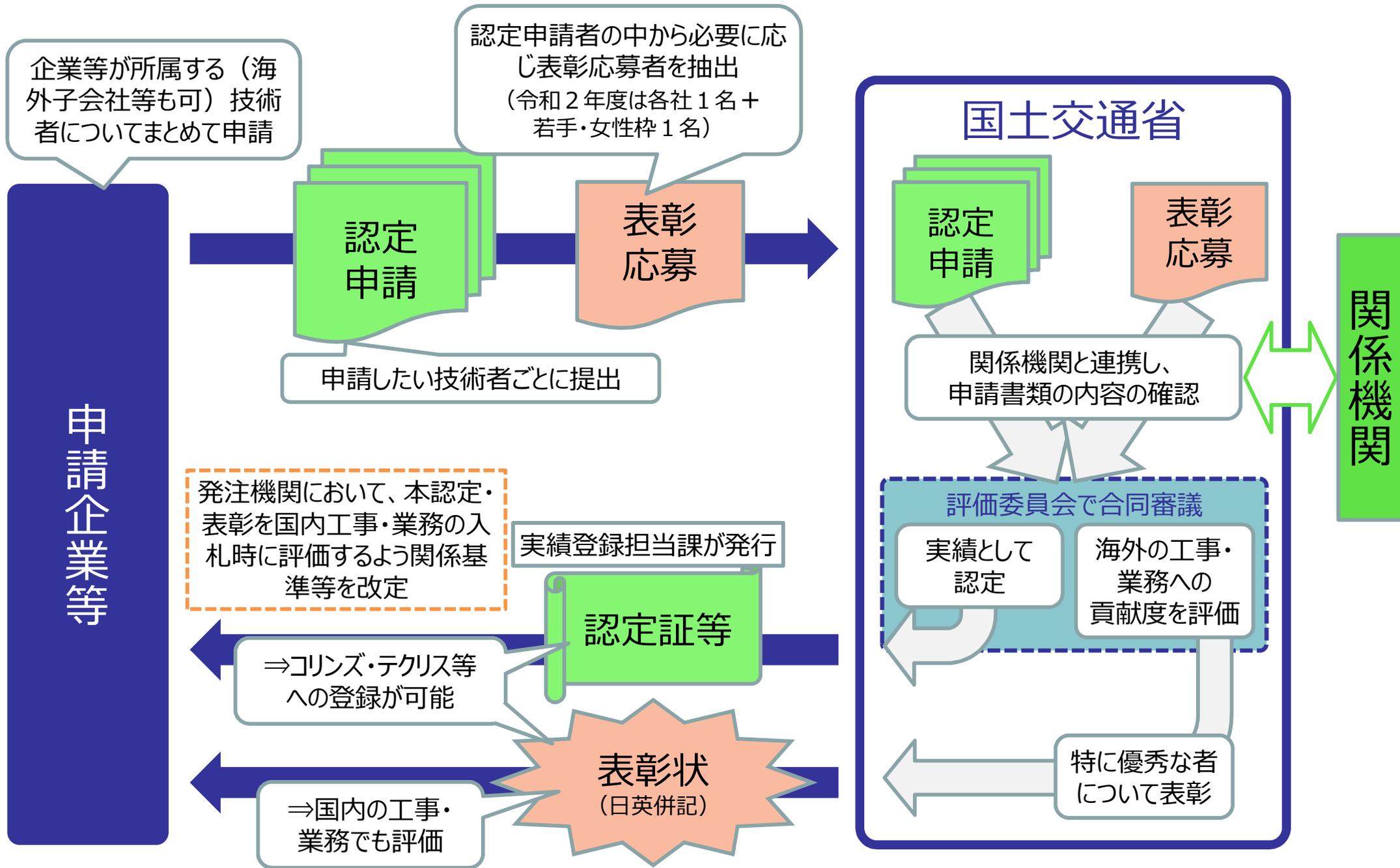
### 【表彰】

- 応募技術者が従事した海外の工事・業務における技術力・創意工夫・貢献度等を評価し、特に優秀な者について表彰(大臣賞)
  - ・ マネジメントに果たした役割、成果
  - ・ 直面した技術的な課題と対応
  - ・ 関係機関協議・調整での困難性、工夫して対処、解決した点 等を評価
- 「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会(仮称)」を設置し、制度の検討や受賞者の選考を実施  
 ⇒ 実績・表彰のコリンズ・テクリス等への登録が可能となり、国内工事・業務への門戸開放。

## スケジュール

- 9月28日 第1回委員会開催、9月30日 募集開始
- 12月21日・1月 第2回・第3回委員会開催、受賞者選考・内定
- R3年2月～3月 認定・表彰対象の決定、表彰式・認定証の発行

海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰のフロー



# (参考)海外で活躍する技術者を国内で評価し海外展開を促す仕組みの構築

- 建設業の海外進出が必要な一方、海外での工事・業務の実績が国内工事等の受注にあたって評価されにくい状況。
- このため、海外工事等の技術者の実績を国として認定・表彰するとともに、**国内工事等の入札・契約手続きにおいて当該実績を評価**する仕組みを構築することで、国内外の技術者の流動化を促進し、建設業の海外進出を後押し。

## 背景

- 建設業の海外進出、技術者の国内外の相互活用を推進する必要。
- 一方、直轄工事等で実績評価の際に用いるデータベース（コリンズ・テクリス）への登録には、発注者の確認（サイン）が必要であることから海外の実績登録が進んでおらず、当該実績が国内工事等の調達において評価されにくい。
- 国内の工事等において、海外工事等の実績を評価する仕組みが必要。

### ■「今後の発注者のあり方に関する中間とりまとめ」に海外展開を促進する仕組みの構築の必要性が明記

今後の発注者のあり方に関する中間とりまとめ（H30.4 発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会）

#### 5-4. 海外展開を促進する仕組みの構築

- ・ J I C A等の国際協力機関と連携して、海外における技術者の実績・成績等を国内工事・業務でも活用できるような制度構築の検討を行うべき。そのためにジ・エンジニアや海外実績の評価導入、海外実績、成績等の国内工事・業務への活用を検討すべき。

### ■品確法に基づく「発注関係事務の運用に関する指針」に海外での施工経験のある技術者の活用が明記

発注関係事務の運用に関する指針（R2.1 公共工事の品質確保の促進に関する関係省庁連絡会議 申し合わせ）

（競争参加者の施工能力の適切な評価項目の設定等）

- ・豊富な施工経験を有していない若手技術者や、女性技術者などの登用、民間発注工事や海外での施工経験を有する技術者の活用も考慮した要件緩和、災害時の施工体制や活動実績の評価など適切な評価項目の設定に努める。

## 海外工事等における技術者の実績を認定・表彰

- 海外で従事した実績を国土交通省が認定・表彰
- R 2. 9月 募集開始
- R 3. 2月 初回の認定・表彰

## 直轄工事等における評価

- 認定・表彰された海外工事等の実績を**直轄工事等の入札・契約手続（総合評価落札方式）**で評価
- その前提として、本認定によりコリンズ・テクリス等への実績登録を可能とする

# 「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会」について

## 設置目的

- 国土交通省において、海外インフラプロジェクトに従事した技術者の実績の認定を行う（以下「認定制度」という。）とともに、そのうち特に優秀な技術者を表彰する（以下「表彰制度」という。）「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」について、実績認定基準の検討及び実績認定、並びに表彰受賞者の選考基準の検討及び受賞者の選考について審議し、両制度の運用等について有識者から合同で意見を聴取する。

## 構成員

委員長	小澤 一雅	東京大学 教授	行政委員	山田 邦博	国土交通省	技監
委員	池田 龍彦	放送大学 副学長	行政委員	山上 範芳	国土交通省	国際統括官
委員	加藤 佳孝	東京理科大学教授	行政委員	浅輪 宇充	国土交通省	大臣官房技術総括審議官
委員	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 教授	行政委員	石原 康弘	国土交通省	大臣官房海外プロジェクト審議官
委員	北野 尚宏	早稲田大学 教授	行政委員	東川 直正	国土交通省	大臣官房技術審議官
委員	塚田 幸広	(公社)土木学会 専務理事	行政委員	下野 浩史	国土交通省	大臣官房官庁営繕部長
委員	中澤 慶一郎	独立行政法人国際協力機構 理事	(委員は五十音順・敬称略) ※所属は令和3年1月現在			
委員	深澤 淳志	(一財)日本建設情報総合センター 理事長				

## 開催状況

第1回委員会 (R2.9.28) 第2回委員会 (R2.12.21) 第3回委員会 (R3.1 (持ち回り))

# 令和2年度 実績認定件数及び表彰件数

## 実績認定件数

	認定数			
	建設会社	建設コンサルタント	その他	
受付企業等数 <small>(申請企業等数)</small>	<b>45者</b> <small>(46者)</small>	26者 <small>(27者)</small>	17者 <small>(17者)</small>	2者 <small>(2者)</small>
認定証対象事業数 <small>(申請事業数)</small>	<b>366事業</b> <small>(421事業)</small>	151事業 <small>(167事業)</small>	212事業 <small>(251事業)</small>	3事業 <small>(3事業)</small>
認定証対象者数 <small>(申請者数)</small>	<b>708名</b> <small>(742名)</small>	575名 <small>(607名)</small>	127名 <small>(129名)</small>	6名 <small>(6名)</small>
認定証発行件数 <small>(申請件数)</small>	<b>1077件</b> <small>(1199件)</small>	705件 <small>(760件)</small>	362件 <small>(429件)</small>	10件 <small>(10件)</small>

## 大臣賞及び奨励賞 表彰件数

	表彰件数								
				国土交通大臣賞			国土交通大臣奨励賞		
	工事	業務等		工事	業務等		工事	業務等	
合計 <small>(応募数)</small>	<b>28名</b> <small>(61名)</small>	22名 <small>(39名)</small>	6名 <small>(22名)</small>	<b>17名</b>	13名	4名	<b>11名</b>	9名	2名

# 令和2年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞

## 2020 Minister's Award for Outstanding International Infrastructure Engineer

### (Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

番号	氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名
1	相川 秀一	東洋建設 (株)	ミャンマー	ティラワ港コンテナターミナル建設工事
2	岩田 修	西松建設 (株)	香港	セントラルカオール幹線道路新設工事ホームマンティン立坑工区
3	宇都宮 真理子	日本コンサルタンツ (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業 (MRT南北線フェーズ1) 運営維持管理支援
4	大縄 泰平	佐藤工業 (株)	シンガポール	地下鉄ダウンタウン線 (第3期) 936工事 (バンクーレン駅建設工事)
5	大西 陽子	(株) 大林組	インドネシア	タンジュンプリオク港アクセス道路建設事業 (II) E2A工区・パッケージ3
6	木之下 一也	東亜建設工業 (株)	ガーナ	セコンディ水産業振興計画
7	坂本 雅信	清水建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・104/105工区
8	鈴木 嗣成	五洋建設 (株)	香港	香港国際空港第三滑走路建設地盤改良工事(第1工区)
9	田部 元太	(株) 大林組	バングラデシュ	カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設・既存橋改修事業
10	豊田 高士	八千代エンジニアリング (株)	フィジー	ナンディ川洪水対策策定プロジェクト
11	南條 大助	(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・施工監理コンサルタンツ業務
12	野村 泰由	東急建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102工区
13	橋詰 亮	(株) フジタ	香港	香港国際空港西エプロン拡張工事・546工事
14	福原 教仁	(株) 日本空港コンサルタンツ	フィリピン	新ボホール空港建設及び持続可能型環境保全事業
15	松野 憲司	(株) IHIインフラシステム	ベトナム	ニャットン橋 (日越友好橋) 建設事業 パッケージ1
16	丸二 信彦	三井住友建設 (株)	タンザニア	タザラ交差点改善計画
17	若松 友二	飛鳥建設 (株)	東ティモール	コモロ川上流新橋建設計画

## 受賞者一覧(国土交通大臣奨励賞)

# 令和2年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞

## 2020 Minister's Encouragement Award for Outstanding International Infrastructure Engineer (Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

番号	氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名
1	赤城 嘉紀	JFEエンジニアリング (株)	ラオス	国道九号線橋梁改修計画
2	梅木 知裕	八千代エンジニアリング (株)	スーダン	統合水資源管理能力強化プロジェクト
3	上床 和輝	新菱冷熱工業 (株)	アラブ首長国連邦	アブダビ首長国アブダビ国際空港拡張に伴う地域冷房プラント-1建設工事
4	岡部 真佳	清水建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・103工区
5	杵築 秀征	西松建設 (株)	香港	地下鉄観塘延伸線1001工事
6	黒田 杏	五洋建設 (株)	シンガポール	センカン総合病院建築工事
7	清水 憲一	飛島建設 (株)	パラオ	上水道改善計画
8	高岡 泰弘	日本工営 (株)	ミャンマー	新タケタ橋建設計画
9	滝 直也	(株) IHIインフラシステム	ベトナム	ニャットン橋 (日越友好橋) 建設事業 パッケージ1
10	中田 直樹	東急建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102工区
11	村松 敬哲	東亜建設工業 (株)	ガーナ	セコンディ水産業振興計画

(五十音順・敬称略)